



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

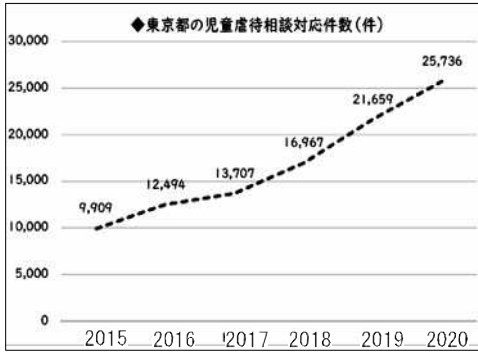
817 2021年12月12日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所 &fax
3805-0504
荒川区町屋5-3-5

定例法律相談
1月11日(火)
18時~20時
横山区議事務所
※1月は正月休みのため
曜日を変更します



荒川区子ども家庭総合センター(児童相談所)の役割は全国的に児童虐待が増加していますが...

Table with 2 columns: 相談種別 (Consultation Type) and 件数 (Number of Cases). Rows include categories like 養護相談 (Child Protection), 保健相談 (Health), 障害相談 (Disability), 非行相談 (Delinquency), and 育成相談 (Child Development).



2020年4月、荒川区は、子ども家庭支援センターと児童相談所機能を持った「荒川区子ども家庭総合センター」を開設、同年7月から児童相談所業務を開始し1年以上経過しました。8月頃「児童虐待 昨年度20万件超 過去最多 厚労省まとめ」のニュース。東京都全体でも虐待の相談対応件数は増加の一途です。荒川区の数字は、まだ1年通じた統計がなく比較できませんが、担当者に確認すると、例年並みとのことでした。児童虐待に関わる相談が全体の半数近くになっ

ています。児童相談所が身近になって保育園や学校との連携もこれまで以上に機能しているとのこと。気軽に相談できる「場」を各地域にいま「子ども家庭支援センター」のように気軽に相談できる場を各地域に作ることも必要ではないでしょうか。当面、各町ごとに子ども家庭総合支援センターの先(サテライト)を設置してはどうでしょうか。ふれあい館の幼児タイムなどに専門職員がでかけて話を聞くなども必要だと感じます。



子ども家庭総合センター
住所 荒川1-50-17
電話 3802-3765
FAX 3802-3787

荒川区子ども家庭総合センターは、子育てで心配なことなどを、子どもや保護者と一緒に解決していく専門の相談機関です。一人で悩まず、気軽にご相談ください。

「町屋さくら」存続を求める陳情の審査結果は不採択
☆共産採択、公明など趣旨採択、自民など不採択...

12月7日の建設環境委員会で、地域のみなさん1000名以上の賛同者を添えた「町屋さくらの存続を求める陳情」の審査が行われました。

この審査に先立って、委員会を休憩、提出者2名から陳情についての意見陳述が行われ、町屋さくら存続の切実な実態と声が語られました。

審査では、各委員とも移動手段の必要性は共通認識でした。補助金での存続に区は「補助金を出すと、尾久や日暮里にも路線を拡大しなくてはいけない...」「財政的に大変」などで拒否しました。

日本共産党区議団は、移動手段の確保は自治体の責務、利用実態、補助金も排除すべきでない、23区の多くが補助金でコミュニティバスを運行などあげて採択に賛成しました。

結論は、共産が採択、自民、自由民主の会、維新が反対、公明、元気クラブが趣旨採択でした。委員会では不採択となりましたが、区民の声を届けて何としても存続させるためにがんばります。西川区長への要望署名にもぜひご協力ください。

(本会議の議決は、10日です。結果は後日お知らせします。)



裏面 町屋文化センター読売カルチャー撤退など

晩秋から初冬へ、季節の移り変わり...
紅葉シーズン各地の喧騒も収まり、季節は初冬へと向かっています。区役所前の公園のイチヨウもすでに盛りを過ぎています。これから寒さも一段と厳しくなる季節に向かいますが、気候変動はどういった影響を与えているのでしょうか。ウェザーニュースの解説では、年間の「猛暑日」日数は増加傾向、「最低気温0度未満」「冬日」は減少、大雨は増加傾向か、秋の台風接近が増加傾向を指摘していますが、紅葉があっても「秋がなくて冬

過ぎていきます。これから寒さも一段と厳しくなる季節に向かいますが、気候変動はどういった影響を与えているのでしょうか。ウェザーニュースの解説では、年間の「猛暑日」日数は増加傾向、「最低気温0度未満」「冬日」は減少、大雨は増加傾向か、秋の台風接近が増加傾向を指摘していますが、紅葉があっても「秋がなくて冬

だ」といった声も聞かれます、気候変動対策は待ったなしです。私達の未来への責任だと思えます。横山幸次



# 町屋文化センター… 読売カルチャー講座が撤退



町屋文化センターで実施している読売カルチャー講座が今年度（来年年3月31日）で終了することになりました。

町屋文化センター開設以来、絵画・外国語・マナー・手芸・音楽など様々な講座を開催してきました。読売カルチャーは16カ所での事業を展開していますが、町屋と金町が撤退となります。

現在、町屋文化センターの運営を任されている荒川区芸術文化振興財団（ACC）が事業を引き受けてくれるカルチャー事業者の選定を行い交渉中とのことです。

4月からのこ



とですから、2月頃には目途をつけなくてはなりません。

読売カルチャーが町屋文化センターの施設（多目的ホール・会議室等）の4割以上を年間で使用してきました。新しい担い手が出てこなかったら、施設の運営と区民への文化提供に大きな影響が出ます。

区施設の民間任せの運営によって、ラングウッド地下ダンスホール使用料不払い撤退、ニユーアカオの区民保養所契約打ち切り、グリーンパール那須の売却と続いています。

**文化芸術・生涯学習は住民が主役**

区の文化行政で大事なことは、多様な住民の自



町屋文化センターの施設利用率

	施設利用率	内読売利用率
2018年度	75.6%	64.2%
2019年度	68.9%	62.9%
2020年度	57.5%	64.5%
2021年7月末	53.8%	65.5%



うかがい求められたいのでは

主的な文化芸術活動などの発展を支援することが第一の仕事です。そのために、鑑賞や発表の機会を増やすための支援、場の提供などが重要となってきました。また、子どもや若い世代の心豊かな成長の保障なども積極的に支援することも視野に入れるべきです。あらためて荒川区の文化芸術行政の根本的は見直しや検討が求められています。

## 《お知らせコーナー》 コロナ対策…各種給付金の支給について

### 18才以下の子どもに10万円支給

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯支援&経済対策として0才から18才の児童1人あたり10万円支給が始まる。児童手当受給世帯は15才までの申請は不要で児童手当の口座に年内を目途に振込む予定です。

その他の対象児童（16～18歳の子ども 10月以降～2022年3月31日までに生まれた子ども）の支給日程は未確定です。

同学年となる4月1日生（早生まれ）には区として独自に支給すべきとの意見が議会で出されました。

残りの5万円分はクーポン券となっていますが、荒川区議会でも現金で支給すべきとの意見が多く出されました。自治体の判断で現金支給も出来ると政府も言っています。

### 学生支援緊急給付金10万円支給

文部科学省は11月26日、新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮する学生を対象に緊急給付金も支給を決めました。家庭から自立してアルバイト収入により学費等を賄っており、その収入が大幅に減少した学生等に対して、昨年度と同様に10万円（うち非課税世帯の場合20万円）を支給。本人が各学校に申請することになります。

### 住民税非課税世帯10万円支給

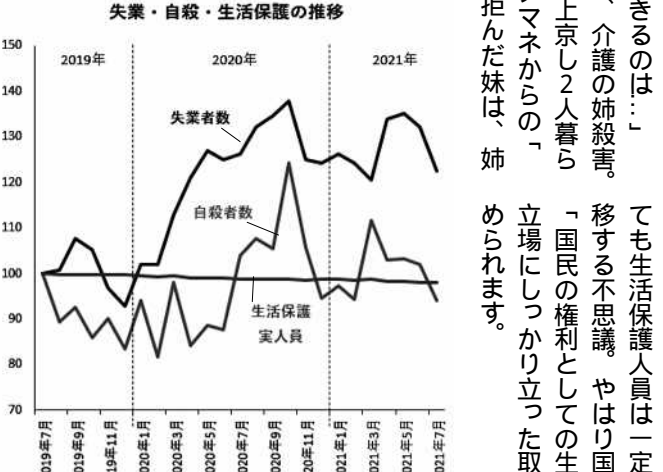
住民税非課税世帯に対して、1世帯あたり10万円の現金を支給（単身でも2人世帯でも10万）、まだ政府からの詳細な説明がないため、基準や支給日についてはわかりません。課税世帯でもボーダーライン層をどうするのか？家計が急変している世帯は？少しは検討しているようですがはっきりしていません。非正規などコロナの影響を受けている人へも含め『暮らし応援給付金』にすべきではないでしょうか。



## 今週のデータ 失業や自殺者が増大しても「福祉は機能不全」…状態

「税金もらって生きるの…」生活保護拒んだ82歳、介護の姉殺害。約60年前に福岡から上京し2人暮らしだった姉妹。ケアマネからの「生活保護申請」を拒んだ姉は、姉に手をかけた…また悲惨な事件が起きました。

「他人に迷惑をかけないよう、親に言われ育った」「迷惑かけないために終わらせるしか」といった考えが生んだ悲劇です。その現れがどんなに自殺者が増え失業や貧困が広がっ



\* 2019年7月の数値を100とした指数。  
\* 総務省「労働力調査」、警察庁「自殺の概要」、厚生省「被保護者調査」より舞田敏彦作成。

「税金もらって生きるの…」生活保護拒んだ82歳、介護の姉殺害。約60年前に福岡から上京し2人暮らしだった姉妹。ケアマネからの「生活保護申請」を拒んだ姉は、姉に手をかけた…また悲惨な事件が起きました。

「他人に迷惑をかけないよう、親に言われ育った」「迷惑かけないために終わらせるしか」といった考えが生んだ悲劇です。その現れがどんなに自殺者が増え失業や貧困が広がっ

ても生活保護人員は一定の比率で推移する不思議。やはり国や自治体が「国民の権利としての生活保護」の立場にしっかり立った取り組みが求